

フランネルフラワー「ハニーホイップ」および「ハニーマスカット」の育成

松古浩樹・加藤克彦

Breeding of a New Flannel Flower (*Actinotus helianthi* Labill.) “Honey Whip” “Honey Muscat”

Hiroki Matsufuru and Katsuhiko Kato

要約 岐阜県鉢花のオリジナル品目であるフランネルフラワーにおいて、クリーム色の花色で出荷前作業を軽減できる下葉の黄化がない品種を育成するため、2015年より変異系統の選抜を開始した。2016年に種子のイオンビーム照射株から黄葉の発生が少ない2系統の黄色鉢花用系統を選抜し、自家採種と選抜により固定化した。2021年に特性調査・特性検定を実施し、2023年に「ハニーホイップ」および「ハニーマスカット」と命名して種苗登録出願を行った。「ハニーホイップ」は、クリーム色の花色で中輪多花である。草姿は、立性で、大鉢でも草姿が乱れにくい。「ハニーマスカット」は、花卉外側より緑色、黄色、クリーム色のグラデーションとなり、草姿は「フェアリームーン」よりコンパクトで小輪多花である。2品種とも開花習性は春一季咲き性である。

キーワード：クリーム色、黄葉低減、鉢花、フランネルフラワー、新品種

緒言

岐阜県は小鉢を中心する鉢花生産が盛んで、令和2年農林水産省花木等生産状況調査における鉢花産出額は全国3位であり、全国の上位に位置している¹⁾。

しかし、鉢花では毎年新しい品目・品種の開発が盛んに行われており、生産者は差別化に向けて、他産地には無い品目の生産を目指している。

そうした中で、経営を安定し、産地間競争を勝ち抜くにはオリジナル品種（オンリーワン品種）による差別化が不可欠であり、生産者からは新品種の育成が強く求められている。

これまでに、鉢花用アクティノツスヘリアンシ種（フランネルフラワー）として「フェアリーホワイト」²⁾、「エンジェルスター」³⁾および消費者の志向に対応できるクリーム色の花色を持つ「フェアリームーン」⁴⁾を育成し、岐阜県のオリジナル品種として消費者や生産者から高い評価を得てきた。しかし、これら品種は、蕾形成後から徐々に下葉が黄化するため、出荷前の下葉取りに時間を要し、時には、枝が折れるなど、出荷ロスを生じることがある。生産者からは、出荷前作業を軽減できる下葉の黄化がない品種を望んでいた。

そこで、当センターでは2015年から、下葉の黄化がないクリーム色系の花色を持つ鉢花品種を主な育種目標として育成に取り組み、その結果、2品種の鉢花用フランネルフラワーを育成したので、その特性と育成の経

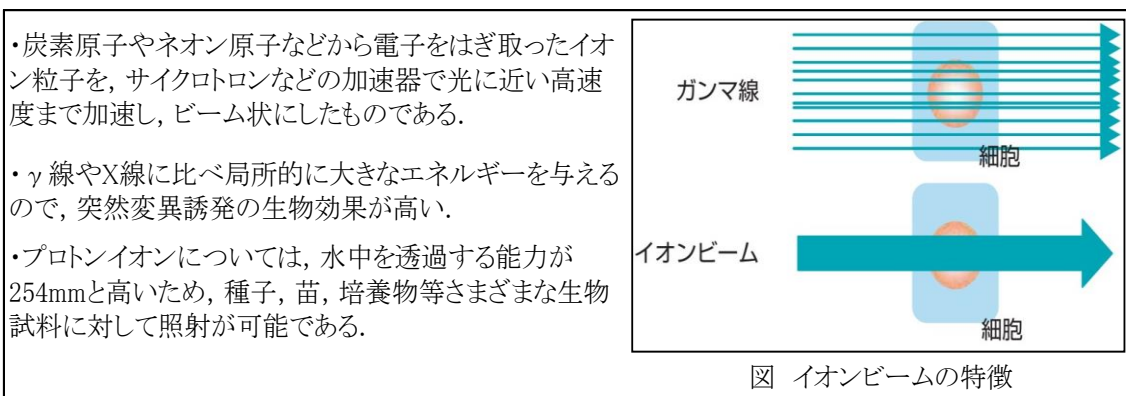
過について報告する。

育成の経過

2015年から、下葉の黄色がなく、クリーム色系の花色を持つ鉢花品種を主な育種目標として育成を開始した。2015年に「フェアリームーン」の種子にイオンビーム照射（第1図）を行い、カーボン照射（50 Gy）した実生株から、黄葉の発生が少なく、草姿が立性の系統および草姿がコンパクトな系統を選抜し、2020年までに自家採種と選抜を繰り返し形質の固定化を行った。2021年に特性調査・特性検定を実施して、新品種として有望であると判断すると共に、鉢花フランネルフ

第1表 2品種の育成経過

西暦	育成経過
2015年	イオンビーム照射した「フェアリームーン」の種子を播種。
2016年	後代から、黄葉の発生が少なく、草姿が立性の系統および草姿がコンパクトな系統を選抜。
2020年	自家採種と選抜を繰り返し、系統を固定化（純系選抜）。
2021年	特性検定を行い、有望性を確認し育成を完了。



第1図 イオンビーム照射の概要

ラワー生産者の試作から商品性等について高い評価が得られたため、育成を完了した（第1表）。2023年に草姿が立性の系統を「ハニーホイップ」⁵⁾、草姿がコンパクトな系統を「ハニーマスカット」⁶⁾と命名し、農林水産省に対し品種登録出願を行った。

材料および方法

1. 特性検定

1) 供試品種

育成品種：ハニーホイップ、ハニーマスカット
 対照品種：フェアリームーン（黄花色中輪）、リトルエンジェル（白花色小輪多花）

2) 耕種概要

「ハニーホイップ」, 「フェアリームーン」
 播種：2020年7月3日, 鉢上げ：8月18日, 鉢替え：10月20日（3.5号鉢）, 摘心：11月5日, 鉢替え：2月5日（5号鉢）, 調査：4月26日
 「ハニーマスカット」, 「リトルエンジェル」
 播種：2020年7月19日, 鉢上げ：8月27日, 鉢替え：10月28日（3.5号鉢）, 調査：4月1日

3) 調査項目

草丈, 株幅, 茎太, 1次分枝数, 葉身長, 葉身幅, 葉片幅, 花の直径, 花中心部径, 花序軸長, 総ほう片幅, 総ほう片数, 総ほう片の主な色（RHSカラーチャートの色票番号）

「ハニーホイップ」の特性

1. 花の特性

総ほう片の主な色は、「リトルエンジェル」の白色（RHSカラーチャート155B）に対し、「フェアリームーン」と同じクリーム色（同8D）である（第2表, 第2

図）。なお、花色発現は低温期が優れる。

花の直径は、「リトルエンジェル」の5.6cmよりも大きく、「フェアリームーン」の7.2cmよりも小さい6.3cmである（第2表, 第2図）。

花序軸長は、「リトルエンジェル」の5.1cmと「フェアリームーン」の6.5cmよりも長い12.1cmである（第2表, 第3図）。

開花習性は、「リトルエンジェル」と「フェアリームーン」と同じ春一季咲き性である。



「リトルエンジェル」 「ハニーホイップ」 「フェアリームーン」
 第2図 花の比較



「リトルエンジェル」 「ハニーホイップ」 「フェアリームーン」
 第3図 草姿の比較

2. 形態特性

草丈は、「リトルエンジェル」の24.7cmと「フェアリームーン」の27.5cmよりも高い40.7cmである(第3表, 第3図).

株幅は、「リトルエンジェル」の19.3cmよりも広く、「フェアリームーン」の29.8cmよりも狭い24.1cmである(第3表, 第3図).

茎の太さは、「リトルエンジェル」の3.9mmよりも太く、「フェアリームーン」の6.8mmよりも細い4.7mmである(第3表).

1次分枝数は、「リトルエンジェル」の11.4本と「フェアリームーン」の9.2本よりも多い17.0本である(第3表, 第3図).

第2表 「ハニーホイップ」の花の特性

品種名	花の直径 [cm]	花中心部 径 [cm]	花序軸長 [cm]	総ほう片 長 [cm]	総ほう片 幅 [cm]	総ほう片 数 [枚]	総ほう片 の主な色 注)
ハニーホイップ	6.3	1.6	12.1	2.5	1.2	10.3	8D
リトルエンジェル (対照)	5.6	1.5	5.1	2.3	1.0	10.0	155B
フェアリームーン (対照)	7.2	2.0	6.5	2.9	1.6	10.2	8D

注) RHSカラーチャートの色票番号

第3表 「ハニーホイップ」の形態特性

品種名	草丈 [cm]	株幅 [cm]	茎太 [mm]	1次分枝 数 [本]	葉身長 [cm]	葉身幅 [cm]	葉片幅 [mm]
ハニーホイップ	40.7	24.1	4.7	17.0	6.7	6.1	4.2
リトルエンジェル (対照)	24.7	19.3	3.9	11.4	5.4	4.7	2.9
フェアリームーン (対照)	27.5	29.8	6.8	9.2	8.3	6.2	5.8

「ハニーマスカット」の特性

1. 花の特性

総ほう片の主な色は、「リトルエンジェル」の白色(RHSカラーチャート 155B)に対し、「フェアリームーン」(同 8D)よりも濃いクリーム色(同 9D)で、より外側が濃色である(第4表, 第4図). なお, 花色発現は低温期が優れる.

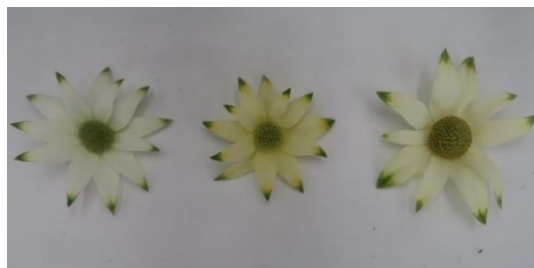
花の直径は、「リトルエンジェル」の5.4cmと同程度で、「フェアリームーン」の7.6cmよりも小さい5.2cmである(第4表, 第4図).

総ほう片の幅は、「リトルエンジェル」の1.1cmよりも広く、「フェアリームーン」の1.6cmよりも狭い1.4cmである(第4表, 第4図).

開花習性は、「リトルエンジェル」と「フェアリームーン」と同じ春一季咲き性である.

2. 形態特性

草丈は、「リトルエンジェル」の33.2cmと「フェアリームーン」の36.0cmよりも低い27.4cmである(第5表,



「リトルエンジェル」 「ハニーマスカット」 「フェアリームーン」

第4図 花の比較



「リトルエンジェル」 「ハニーマスカット」 「フェアリームーン」

第5図 草姿の比較

第5図).

株幅は、「リトルエンジェル」の15.7cmよりも広く、「フェアリームーン」の24.4cmよりも狭い20.8cmである(第5表, 第5図).

茎の太さは、「リトルエンジェル」の4.0mmと同程度

で、「フェアリームーン」の5.0mmよりも細い4.1mmである(第5表).

1次分枝数は、「リトルエンジェル」の8.6本と「フェアリームーン」の8.0本よりも多い16.0本である(第5表, 第5図).

第4表 「ハニーマスカット」の花の特性

品種名	花の直径 [cm]	花中心部 径 [cm]	花序軸長 [cm]	総ほう片 長 [cm]	総ほう片 幅 [cm]	総ほう片 数 [枚]	総ほう片 の主な色 注)
ハニーマスカット	5.2	1.3	6.3	2.4	1.4	10.6	9D
リトルエンジェル (対照)	5.4	1.5	4.3	2.4	1.1	11.2	155B
フェアリームーン (対照)	7.6	2.1	6.8	2.7	1.6	10.6	8D

注) RHSカラーチャートの色票番号

第5表 「ハニーマスカット」の形態特性

品種名	草丈 [cm]	株幅 [cm]	茎太 [mm]	1次分枝 数 [本]	葉身長 [cm]	葉身幅 [cm]	葉片幅 [mm]
ハニーマスカット	27.4	20.8	4.1	16.0	3.8	4.6	4.7
リトルエンジェル (対照)	33.2	15.7	4.0	8.6	3.9	4.7	3.4
フェアリームーン (対照)	36.0	24.4	5.0	8.0	5.7	6.0	7.0

考 察

1. 「ハニーホイップ」の特徴

1) 花色および開花特性

花色は、クリーム色である。また、開花特性は春一季咲き性であり、播種時期と冬季管理温度により3月から4月の出荷が可能である。

2) 草姿

花は、「フェアリームーン」より小さいが、花数が多く中輪多花である。草姿は、立性で黄葉の発生が少なく5号鉢以上の大鉢でも草姿が乱れにくいため、大鉢生産が可能である。

2. 「ハニーマスカット」の特徴

1) 花色および開花特性

花色は、外側より緑色、黄色、クリーム色の3色グラデーションである。また、開花特性は春一季咲き性であり、播種時期と冬季管理温度により3月から4月の出荷が可能である。

2) 草姿

草姿は、「フェアリームーン」よりコンパクトで、また、花が小さく、一次分枝数が多い小輪多花である。

3. 市場性・将来性

既存の鉢花用フランネルフラワーのフェアリーホワイト、エンジェルスター、フェアリームーンは、黄葉を取り除く出荷前作業を要する。

今回育成した2品種は、黄葉の発生が少ないため、出荷前作業を省略でき、生産面で優位性を有する。

「ハニーマスカット」の花は、既存品種の「フェアリームーン」より小さいが花数が多く、また、5号鉢以上の大鉢でも乱れにくく、贈答用などの大鉢生産も可能であり、消費者の嗜好にマッチすることから、需要の拡大が期待できる。

「ハニーマスカット」は、花色が外側より緑色、黄色、クリーム色の3色グラデーションとなる黄花品種であり、これまでにない花色であることから、新たな消費ニーズを創出できる。

鉢花フランネルフラワーを生産する農家19戸(令和4

年7月現在)で構成されるフランネルフラワー研究会員を中心に、生産技術の研修等を実施すると共に、県内への普及・振興を進める。

引用文献

- 1) 農林水産省生産局農産部園芸作物課花き産業・施設園芸振興室. 2020. 令和2年農林水産省花木等生産状況調査.
- 2) 農林水産省品種登録. 2009. 品種登録番号 18363.
- 3) 農林水産省品種登録. 2016. 品種登録番号 25339.
- 4) 農林水産省品種登録. 2018. 品種登録番号 26778.
- 5) 農林水産省品種登録. 2023. 品種出願番号 36649.
- 6) 農林水産省品種登録. 2023. 品種出願番号 36650.

Abstract

In 2015, we started selecting mutant lines of flannel flowers, an original potted flower variety in Gifu Prefecture, to cultivate a variety with cream-colored flowers and no yellowing of the lower leaves, which can reduce pre-shipment work. In 2016, we selected two lines for producing yellow potted flowers with a lower occurrence of yellow leaf development from ion-beam-irradiated seeds, and fixed the same through in-house seeding and selection. In 2021, we conducted a survey and tested their characteristics, and in 2023 applications for seed registration were filed under the names "Honey Whip" and "Honey Muscat." The "Honey Whip" has cream-colored, medium-sized, polycyclic flowers.

The plant stands upright, and the shape is not easily disturbed, even when planted in large pots. The "Honey Muscat" has a gradation of green, yellow and cream colors from the outer petals, and is more compact and has more small flowers than the "Fairy Moon." Both varieties are seasonal, flowering in the spring.

Key words

Yellow-White Color, Reduce Yellow Leaves, Pot Flower, Flannel Flower, New Variety